

## 情報処理学会研究会のおしらせ

情報処理学会は、急速な発展をとげつつある情報処理の諸分野における研究発表・討論の場を提供し、各分野の研究活動を活発化し、知識の交流を促進することを目的として、昭和48年度より研究会を発足し、初年度は、4研究会を行ないました。本年度は、これにシステム性能評価、計算機アーキテクチャの2研究会を加え、計6研究会を行ないます。

これらの研究会は、会員が自由に参加し、発表し、討論することができるものです。毎月の研究会の予定については、その前月に本欄で会告いたしますので、ご留意のうえ、積極的にご参加下さい。研究会の各発表にあたっては、10頁程度の予稿を作成し、これにもとづいて講演と討論を行ないます。予稿は、当日各会場でも頒布いたしますが、別記\*のように、年間予約登録されることをおすすめいたします。（ご欠席の場合、郵送いたします。）なお、登録は会員に限りますが、特に賛助会員の登録を歓迎いたします。

各研究会の主査・代表幹事は下記のとおりですので、発表ご希望の方はお申し出下さい。

\* 本欄第5頁の「登録申込書」をご参照願います。

### 情報処理学会研究会

研究会名	主査・代表幹事	取り扱う研究分野の例
1 データ・ベース	(主査) 西野 博二 (電総研) (代表幹事) 国井 利泰 (東大・理)	○データ・ベース・システムの理論 ○データ・ベース・システムの実際 ○関連ソフトウェア技術 ○データ・バンクの問題 ○データ・ベース・システムの影響
2 マン・マン・シス템	(主査) 大須賀節雄 (東大・宇宙研) (代表幹事) 飯田 善久 (鉄研)	○マン・マシン・コミュニケーション方式の基礎 ○CAD ○CAI ○システムの評価 ○入出力装置
3 設計自動化	(主査) 元岡 達 (東大・工) (代表幹事) 倉地 正 (東芝・青梅) 平川 和之 (沖・品川)	○設計自動化のための理論 ○手法 ○システム ○装置 ○マイクロプログラミング ○論理装置設計言語
4 医療情報処理	(主査) 吉本 千穂 (北大・応用電気研)	○診断 ○医学 ○疾病統計等に関する情報処理
5 システム性能評価	(主査) 大野 豊 (東大・工) (代表幹事) 石田 晴久 (東大・大型センター)	○性能評価のためのモデリング ○シミュレーション ○システム解析 ○ハードウェアモニタ ○ソフトウェアモニタ ○ベンチマークテスト ○評価データの情報交換
6 計算機アーキテクチャ	(主査) 相磯 秀夫 (慶大・工) (代表幹事) 所 真理雄 (慶大・工)	○計算機システム設計 ○ハードウェア・システム ○ソフトウェア・システム ○応用システム

## 昭和49年6~7月情報処理学会研究会開催通知

研究会名	日 時		会 場	備 考
設計自動化	6月19日(水)	14:00~17:00	機械振興会館	下記参照
システム性能評価	6月28日(金)	14:00~17:00	同 上	同 上
計算機アーキテクチャ	7月2日(火)	14:00~17:00	同 上	同 上

### ○第6回 設計自動化研究会 (主査: 元岡 達, 代表幹事: 倉地 正, 平川和之)

- 日 時 6月19日(水) 午後2時~5時  
 会 場 機械振興会館 6階67号室  
 議 題 (1) マイクロプログラムの設計自動化 山田昭彦(日電)  
 [概要] マイクロプログラムの記述言語とそのアセンブラーおよびフローチャータシステムの汎用化を試みたので報告する。  
 (2) LSIにおける自動設計とグラフィックディスプレイの応用 大津一弘(沖)  
 [概要] マスタスライス方式LSIを対象とした配置・配線プログラムと、ここで用いたディスプレイのためのデータ構造について述べる。  
 (3) ハイブリッドコンピュータによる電子回路のCADについて 浮ヶ谷文雄, 平松啓二(電機大)  
 [概要] 従来の電子回路CAD手法のトランジメント解析における問題点を解析実例から明らかにし、この問題解決の一方法としてハイブリッドコンピュータによる方法について検討したことを述べる。

### ○第1回 システム性能評価研究会 (主査: 大野 豊, 代表幹事: 石田晴久)

- 日 時 6月28日(金) 午後2時~5時  
 会 場 機械振興会館 6階65号室  
 議 題 (1) ハードウェア・モニタの技法について 箱崎勝也, 小野隆善(日電中研)  
 [概要] システム評価のためのハードウェア・モニタによるシステム測定技法とその応用について検討を行なったので報告する。  
 (2) MARS 105システムの能力評価 井上晴雄(鉄研)  
 [概要] 国鉄の座席予約システムにおける応答特性等の測定と解析を行なつたので報告する。

### ○第1回 計算機アーキテクチャ研究会 (主査: 相磯秀夫, 代表幹事: 所真理雄)

- 日 時 7月2日(火) 午後2時~5時  
 会 場 機械振興会館 6階67号室  
 議 題 (1) 計算機アーキテクチャ研究会発足にあたって 相磯秀夫(慶大)  
 (2) 高速汎用信号処理装置 KSP のマイクロプログラム制御 所真理雄, 内田俊一, 相磯秀夫(慶大)  
 (3) EPICSにおけるハードウェアネットワーク構成 真子ユリ子(電総研)

[概要] 次号本欄をご参照ください。

開催予定 7月, 9月, 10月, 11月, 1月, 2月の、原則として第1火曜日に開催。

○本号添付の申込書のとおり研究会登録費は年2,000円です。当日会場でも受け付けます。

## 昭和 49 年度電気関係学会東北支部連合大会ご案内

主 催 電気学会、電子通信学会、照明学会、日本音響学会、テレビジョン学会、情報  
処理学会各東北支部  
日 時 昭和 49 年 10 月 3 日 (木), 4 日 (金)  
会 場 東北学院大学工学部 (多賀城市旭ヶ岡, 電話 (02236) 2-6351)  
プロ グラム 10 月 3 日 (木) 午前: 一般講演、技術報告  
午後: 特別講演  
「宇宙からの画像情報」 丹羽 登 (東大)  
「情報表示の技術」 和田正信 (東北大)  
夜 : 懇親会  
10 月 4 日 (金) 一般講演・技術報告  
注) なお、両日の展示会(計測器、ミニ・コンピュータ、通信機器等)を開催  
の予定です。

### 一般講演および技術報告募集要領

講演者は主催学会会員に限り(連名の場合は会員以外を含むことも可), 講演時間は、1 件  
15 分以内とします。ただし、都合により、時間を制限することがあります。スライド使用の  
場合は、5 枚までとします。

講演内容 一般講演: 各専門分野で最近行なった研究の発表  
技術報告: 各専門分野で最近行なった工事報告、現場実験報告、新製品の紹  
介など、とくに現場に直結した実験研究の発表

申込方法 (イ) 「講演申込書」は、お申し出により、原稿用紙(本文 1,600 字), 「原稿  
の書き方」とともにさしあげます。(郵送ご希望の方は、100 円切手を添  
えてお申し込みください。)  
(ロ) 講演および技術報告の予稿集は、オフセット印刷の原稿としますの  
で、原稿は、必ず所定の原稿用紙をご使用願います。  
(ハ) 申込件数の制限は、1 人 2 件までとします。ただし、連名はさしつか  
えありません。内容がいちじるしく不適当と思われる場合は、講演を制  
限することもあります。  
(ニ) 発表者は、題目申し込みと同時に、講演申込金として、1 件につき  
1,500 円を必ずご納入ください。(別刷 50 部、予稿集代金を含む。)  
(ホ) スライドを使用する場合は、その旨お申し込みください。

申込期限 題目申込: 昭和 49 年 7 月 31 日 (水)

原稿締切: 昭和 49 年 8 月 17 日 (土) <到着厳守>

予 稿 集 講演者には、当日会場受付でお渡しいたします。その他の希望者は、所要部  
数(1 部 1,200 円)を早目にお申し込みください。郵送ご希望の際は、郵送  
料 1 部 200 円、2 部 300 円、3 部 400 円、を添えてお申し込みください。

申込先 〒 980 仙台市荒巻字青葉 東北大学工学部電気系学科内  
電気関係学会東北支部連合事務局 佐野民治 電話 (0222)22-1800(内線 3327)

懇親会 日時: 10 月 3 日 (木) 午後 6 時、会場予定: 仙台電信電話会館(仙台市清水  
小路、電話 27-1515), 会費: 1,000 円、定員: 100 名(申し込み先着順とし  
ます)。

懇親会費は、当日大会会場でも受け付けますが、準備の都合上、できるだけ  
事前にお申し込みください。

宿泊・足 宿泊は、とくに斡旋いたしません。なお、仙台駅~多賀城駅(電車: 仙石線)  
は約 20 分、多賀城駅~学校は徒歩 10 分程度です。

## 第2回国際会議「コンピュータ教育」の論文募集について

既報のとおり、IFIPでは、標記の国際会議を1975年(昭和50年)9月1日から5日までの間、フランスのマルセユで開催するため準備を進めていますが、このほど、論文募集要項が発表されましたので、その要点を紹介します。

今回の会議は、《教育におけるコンピュータ利用》に重点をおき、さまざまな教育段階における各教科の授業の中にインフォマティックス(情報科学)の方法を導入することの効果・影響等について討論する機会を設けることを目標としています。会議では、招待講演、論文発表、パネル討論会、ラウンドテーブル討論会などが行なわれます。主な話題は、下記のとおりであり、分類1~7ならびにA~Jの組合せによって生じるすべての分野の論文が受け付けられます。

### [会議のテーマ]

**専門分野:** 1) インフォマティックス(情報科学), 2) 数学, 3) 自然科学(物理学・化学・生物学), 4) 社会科学・行動科学, 5) 管理, 6) リベラルアーツ, 7) 工学・技術  
**教育段階:** A) 初等・中等教育(6歳~18歳), B) 大学, C) 職業訓練, D) 成人教育,  
E) 教師の訓練, F) カリキュラム, G) 教育機器, H) 教育行政, I) CAI,  
J) CMI

実際の経験とその評価に関する発表が特に望まれていますが、新しい技術や理論に関する発表ももちろん歓迎されます。

参加ならびに論文発表は、所定の申込用紙により、1974年7月15日までに、プログラム委員会委員長宛に申し込むことになっています。

論文原稿の提出期限は、1974年10月15日です。

なお、詳細をお知りになりたい方は、募集要項・申込用紙が本会事務局に用意してありますので、返信用封筒(長形3号の定形封筒に20円切手添付のうえ、返送先宛名を明記すること)を添えてご請求ください。

## 第7回情報科学若手の会シンポジウム開催について

標記シンポジウムが下記のとおり開催されます。参加ご希望の方は下記要領にしたがってお申し込みください。

### 記

主 催 目 的	(社)情報処理学会プログラミングシンポジウム委員会情報科学若手の会 情報科学およびその関連分野に関して、実際に研究にたずさわっている若手研究者、技術者が、お互いに問題を提起し合い、宿泊を共にして広く自由に討論することを目的とする。
期 会 場	昭和49年7月9日(火)~11日(木) 慶應義塾立科山荘(長野県北佐久郡立科町)
定 員	50名
資 格	学部卒業6年まで
申込期限	昭和49年6月1日(土)
参 加 費	4,000円
申込方法	氏名、所属、卒業学部・学科、卒業年度、連絡先、電話番号、現在の研究テーマおよび討論したい問題点を、A4版の用紙に記入して送付のこと。
申込先	〒223 横浜市港北区日吉町832 慶應義塾大学工学部電気工学科 所真理雄 電話(044) 63-1141

昭和 年 月 日

## 昭和 49 年度情報処理学会研究会登録申込書（会員に限る）

登録希望 (○でか こむ)	研 究 会	予約登録料	入 金 確 認			備 考
			49	50	51	
1	データ・ベース	円 2,000				
2	マン・マシン・シ ス템	2,000				
3	設計自動化	2,000				
4	医療情報処理	1,300				
5	システム性能評価	2,000				
6	計算機アーキテク チャ	2,000				

○申込会員氏名 \_\_\_\_\_ [正・学生・賛助] (会員番号 No. \_\_\_\_\_)

○勤務先 \_\_\_\_\_

○資料送付先

(〒 \_\_\_\_\_) \_\_\_\_\_ (Tel. \_\_\_\_\_)

○予約金払込方法

持 参	現 金 書 留	郵 便 振 替	銀 行 振 返
月 日	月 日 送 付	月 日	月 日 銀行宛

○備 考

- ・情報処理学会の請求書（　通），見積書（　通），納品書（　通）が必要です。  
(請求先：\_\_\_\_\_, 日付記入：可・否)
- ・申込者所属機関の書類が必要ですので、同封します。

○申込・問合先 (社)情報処理学会 研究会係 Tel. (03) 431-2808~9(直通)  
(〒 105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 314 号)